

健康経営、

作業管理

が果たす 役割

参加費
無料

日時：2019.2.13(水) 13:30-17:30

会場：the 33 (〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4-9 プリーゼプリーゼ33F)

お申込みはコチラ→ <http://jpm1960.org/kaizen13/>

定員：先着100名様まで



プログラム

- 13:00～ 開場、受付開始
- 13:30-14:00 **作業管理ってなに!?**
一般財団法人日本予防医学協会理事長 神代 雅晴
- 14:00-14:50 **健康経営に役立つ作業管理のヒント**
株式会社 健康企業 代表取締役・医師 亀田 高志 先生
- 14:50-14:55 休憩
- 14:55-15:45 **働き方を見つめ直す作業管理のすすめ方**
名古屋市立大学 医学研究科
環境労働衛生学分野 講師 榎原 毅 先生
- 15:45-15:50 休憩
- 15:50-16:40 **作業管理の見える化～製造部門の現場改善活動～**
ダイキン工業株式会社 村上 貴敏 先生
- 16:40-17:10 **作業管理取組事例報告 (2例)**
社会保険労務士/税理士 松井 慶一 氏
理学療法士 高野 賢一郎 氏
- 17:10 **閉会挨拶**
一般財団法人日本予防医学協会理事長 神代 雅晴

講演概略

今日、労働関連で騒がれている『健康経営、働き方改革、高齢労働』という三つの課題の根底に深く関係するのが「作業管理」です。法規制の下に活動を余儀なく強いられている企業等も“法規準拠型”の労働安全衛生活動及び雇用施策をしてきました。それ故に、どちらかという法規準拠型から外れた“自主管理活動”の下にある作業管理がなおざりとされてきた経緯があります。しかし、この作業管理活動こそが上記の3つの課題をそれぞれ解決し、なおかつ横串でホーリスティックに解決するキーとなります。そもそも作業管理とは、負荷と負担の適正なバランスを求めて労働者個々人の労働適応能力と労働者個々人に求められた職務とのミスマッチの度合いを限りなく小さくする役割を担っています。『健康経営、働き方改革、高齢労働』という課題を解決する21世紀型作業管理のヒントをご高名な先生方をお招きしてご講演いただきます。



亀田 高志 (かめだ たかし) 先生

1991年産業医科大学医学部卒。

大手企業専属産業医、産業医科大学講師を経て同大学設立によるベンチャー会社の創業社長兼専門コンサルタントを2006年から10期務める。職場の健康確保対策を専門とし、社会保険労務士がメンタルヘルス対策を学ぶ健康企業推進研究会®も主宰。

日本産業衛生学会エイジマネジメント研究会世話人、福岡産業保健総合支援センター相談員、国際EAP協会日本支部理事でもある。



榎原 毅 (えばら たけし) 先生

2005年3月名古屋市立大学大学院医学研究科満期退学、博士（医学）。同年、同学労働生活・環境保健学分野助手、助教を経て、2009年から環境労働衛生学分野講師。

(一社) 日本人間工学会副理事長(2016-2018)、同学会改革・戦略委員会委員長(2016-)、人間工学誌編集委員会副委員長(2012-2018)、国際標準化機構ISO/TC159(人間工学)国内対策委員会SC3分科会委員長(2012-)、Journal of Occupational Health: Ergonomics領域委員長(Field Editor, 2016-)ほか。



村上 貴敏 (むらかみ たかし) 先生

1985年3月広島大学工学部第2類 卒業。

1985年4月ダイキン工業へ入社し、堺製作所汎用空調製造部配属。空調機の生産技術業務を担当する。1987年4月から産業医科大学産業生態科学研究所人間工学研究室へ1年間研究生として留学、1年後にダイキン工業元所属に戻り、生産技術業務に携わる。

2001年7月空調生産本部 生産技術部課長。

2008年1月大金制冷蘇州有限公司(董事総経理)。

2012年4月空調生産本部 企画部 生産戦略担当課長。

2018年7月フィルタ事業本部 事業推進部 生産戦略担当課長。

主催：一般財団法人 日本予防医学協会

運営事務局

一般財団法人日本予防医学協会 九州事業部

OHソリューション室内 担当:谷・橋本

お問合せはメールで → enable_action@jpm1960.org